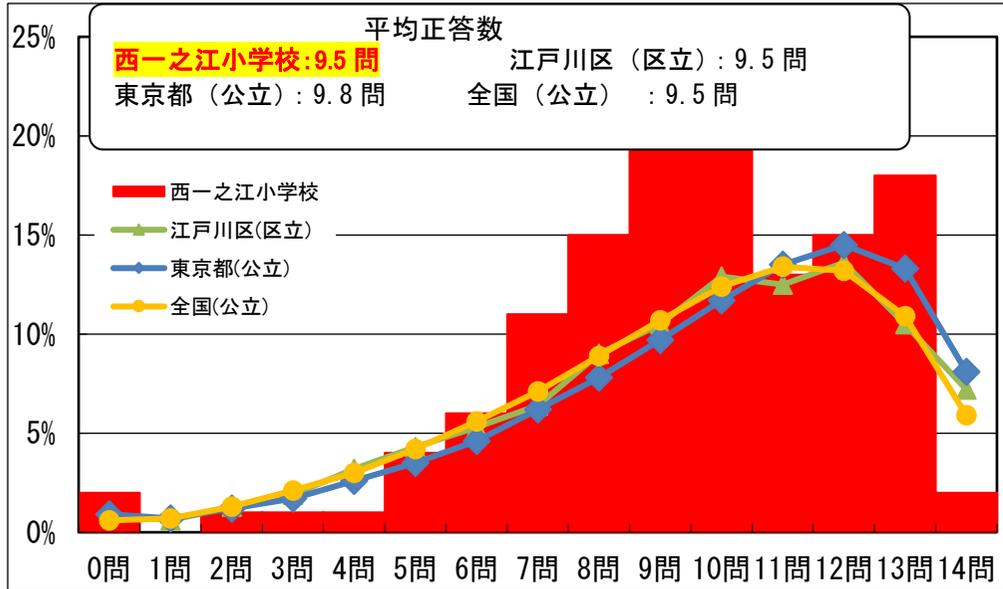


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 西一之江小学校

正答数分布



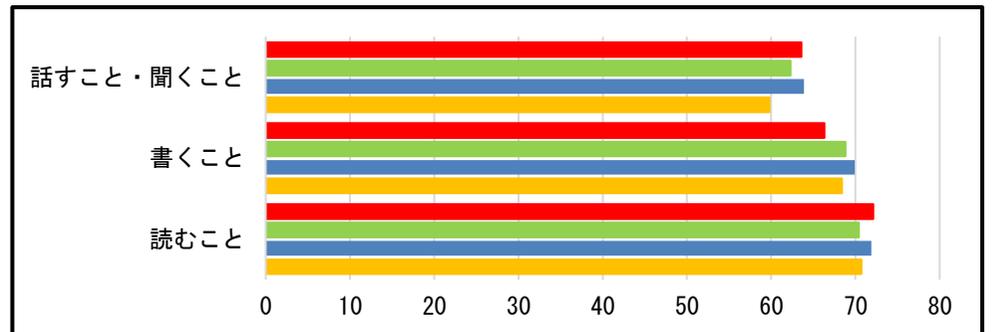
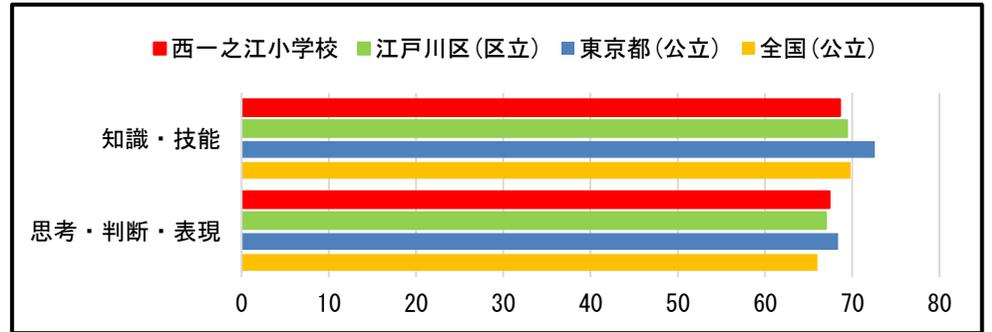
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
西一之江小学校	27.2	25.6	27.1	20.1
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

西一之江小学校	68.0%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	2ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

○区内平均とほぼ等しく、都平均を下回った。領域別では、「読むこと」については、都平均を上回るなど、項目別に大きく改善される部分も見られる。

△一方、「書くこと」については、区平均・都平均に比して下回っている。

→自主学习やふり返しなど、一定量の文章を書く経験を積ませる活動を継続して取り組む。

△四分位での分布では、区・都・国の分布と比べて、A・D層が少なく、C層が大きな割合を有している特徴がある。

→苦手な領域の支援だけではなく、自らの力をすすんで伸ばすための声掛けや指導方法の工夫を検討し実践していく。